

2009/10 ブータン GLOF 衛星班会合 議事録

- ・日時:2009/10/13(火) 13:30-18:45, 2009/10/14(水) 9:40-13:00
- ・場所:新潟大学理学部 4F
- ・参加者(敬称略):衛星班 浮田, 阿部, 山之口, 奈良間, 田殿 プロセス班 西村

議事内容

1) 8月以降の進捗, 今後の計画, 作業分担(田殿):13:40-14:30

- ・田殿オフィスの電話番号が10/13- 変更になる
- ・JST今年度予算:研究計画(JST/JICAとも)に阿部さんを追加する(田殿) > JSTへ確認した結果, 学部学生の登録にメリットがないことが判明. しばらく保留します
 - 旅費:あと一回東京出張分確保する(新潟から二人, 京都一人), 阿部さん分はJAXAで確保
 - その他衛星データ(SPOT, CORONA):アーカイブ調査(山之口) > シーン選定(矢吹), 藤田先生に確認
- ・12/7-8 研究報告会#北大:参加可能な方は参加, 旅費は名古屋大へ申請 11/6 締切
 - 田殿(衛星班概要, 立山検証?), 山之口(氷河湖インベントリ処理手順), 阿倍(画像処理とデジタル化), 奈良間(インベントリサンプル)
- ・JICA 予算
 - 衛星データ:DSM/ORI+PRISM/RPC(直下視, 1B2, 今年度は数シーン)含める, 名古屋大宛の見積(田殿)
 - PC(Windows マルチリンガル x3 台), UPS 関係:名古屋大宛の見積を田殿へ送付(山之口, 10/26)
 - ERDAS Imagine Pro (200x2) + LPS for Imagine (140x1)+ LPS ATE(130x1)+ArcView(78x1)+ Special Analysit(65)=813 万円:名古屋大宛の見積を田殿へ送付(山之口, 10/26)
 - GAMMA 取りやめ
- ・3月 PC セットアップ, 初期研修:衛星班希望として3/10-12で調整(3/8-9 JCC, SWS)
 - 参加予定者:田殿, 山之口, 富山, 浮田(予定), 矢吹(確認)
- ・来年度現地調査(9-10月30日間):参加予定者 山之口, 富山, 奈良間(確認), 矢吹(確認)→11/6までに連絡
- ・来年度 JST 予算:衛星班旅費増額(会合, 国内学会(IGS)), 新潟大阿部さんの名前も入れておく
新潟大に LPS for Imagine (140)+ LPS ATE(130)を追加する?
地球研へ解析用 PC 導入

2) 氷河湖インベントリー作成について(奈良間):14:30-16:10

- ・NDGlofi=(B4-B2)/(B4+B2), 濁水検出向き, GLOF では濁水域が重要
- ・氷河をやるなら ASTER がよい
- ・どのくらいのスケールの氷河湖を取るか?
 - パンシャープン画像を用いた手動デジタル化がよい
 - デブリカバーの氷河をどうするか?
 - 大きな氷河湖:植生を見て, 完新世後期・小氷期内の氷河湖をターゲットとする
- ・ブータン優先:ALOS パンシャープンで現在インベントリ, 過去データにさかのぼる, 決壊した氷河湖は最優先
- ・氷河湖インベントリとして整備する情報:(衛星班)緯経度, 高度, 面積, 氷河湖タイプ, 地図, 周辺傾斜
その他, 体積, 危険要因(現地調査から), 総合判断として危険度
- ・氷河インベントリ:Landsat/ASTERで自動化? ALOSで見直す

- ブータンを進める:GLIMS?
- Mongde-Chu:地滑り湖も考慮に入れる(西村先生コメント, アセス班から要望)

3) ERDAS Imagine によるパンシャープ作成と実習(山之口):16:25-18:30, 10/14

- 使用する入力データは同時観測の PRISM, AVNIR-2, ORI
- Imagine によるパンシャープ処理手法の選定
 - アルゴリズムの明確性と処理の安定性から Mod. HIS + センサバンド情報を標準, Subtractive を予備とする
- 実習内容
 - PRISM ORI インポート:Generic Binary
 - 今後提供データは GeoTIFF とするよう努力する
 - 座標変換:HDR 情報を用いた geometric correction > Keyboard 入力
 - GCP(タイポイント)を使った AVNIR-2 の PRISM への位置合わせ
 - 画像の重ね合わせの表示
 - Mod. HIS によるパンシャープ処理
 - 氷河湖のデジタルイズ:ppt 資料作成(山之口)
 - Preference "Vector" "Use Weed Tolerance"を off しておく
 - Default zoom + 「+」2 回くらいの拡大
 - [ものさしアイコン]で大きさを確認:およそ直径 100m(0.01km²)以上のものをデジタルイズ
 - Shp ファイルの作成, 保存:File New - Vector Layer- shp file を開く > digitizing > [■アイコン]で上書き保存
 - Shp の修正
- Mongde-Chu:06/11/7 上流域の 1 シーンで試作(阿部, 10/21 目標), 衛星班メンバーで確認(全員, 10/28)
 - 氷河湖抽出が問題ないか確認と手順の明確化

※確認事項

- パンシャープ処理のバッチ処置方法確認(山之口)
 - 複数シーン処理時は位置合わせまで終わらせ, バッチ処理でパンシャープを流す
- パンシャープ画像の命名規約を考える:
 - YYMMDDrsp_Frame-pans.img, YYMMDDrsp_Frame-pans.rrd
 - 他班から要望があれば, YYMMDDrsp_Frame-pans321.tif, YYMMDDrsp_Frame-pans321.tfw:トゥルーカラー合成の場合
- shp file(氷河湖, 氷河)の命名規約を考える:矢吹, 奈良間に相談
- 氷河湖内の島はどう扱うか?
- 実体視データセットも合わせて準備
- どの湖をデジタルイズするか(ex. 矢吹インベントリを参照する?), 優先順は?
 - ブータンでインベントリを作成すべき氷河湖は 40 個なのか 2000 個なのか?

<その他>

- 11/9 ALOS PI 会議用:PPT 集める, 矢吹(アルタイ), 藤田, 西村(ブータン), 田殿(立山)を依頼
- > 11/初めに発表資料まとめる(浮田)

以上